習志野市

少子・高齢化社会における習志野市について

習志野市ご当地キャラ「ナラシド♪」

平成28年12月12日　習志野市長　宮本　泰介

目次

・習志野市の概要

・習志野市の人口概況と推計

・これからの社会

・習志野市の人口ビジョン・総合戦略

・賑わいの創出

習志野市の概要

習志野市

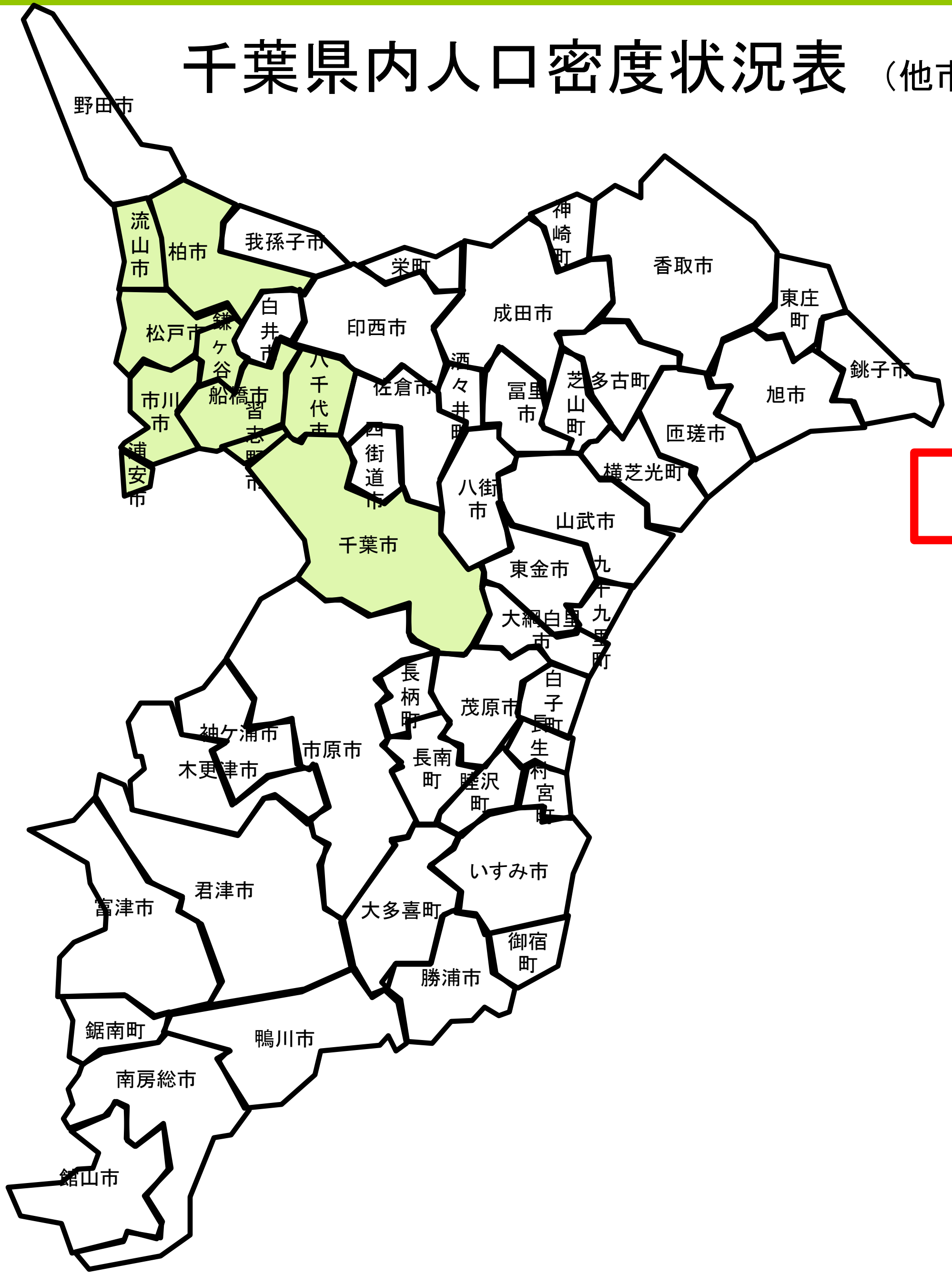
面積
20. 97㎢

人口
170, 371人
（平成28年4月末住基）

人口密度
8,124.51人／㎢
（平成28年4月30日現在）

千葉県内人口密度状況表 （他市はH27国勢調査速報値より）

習志野市

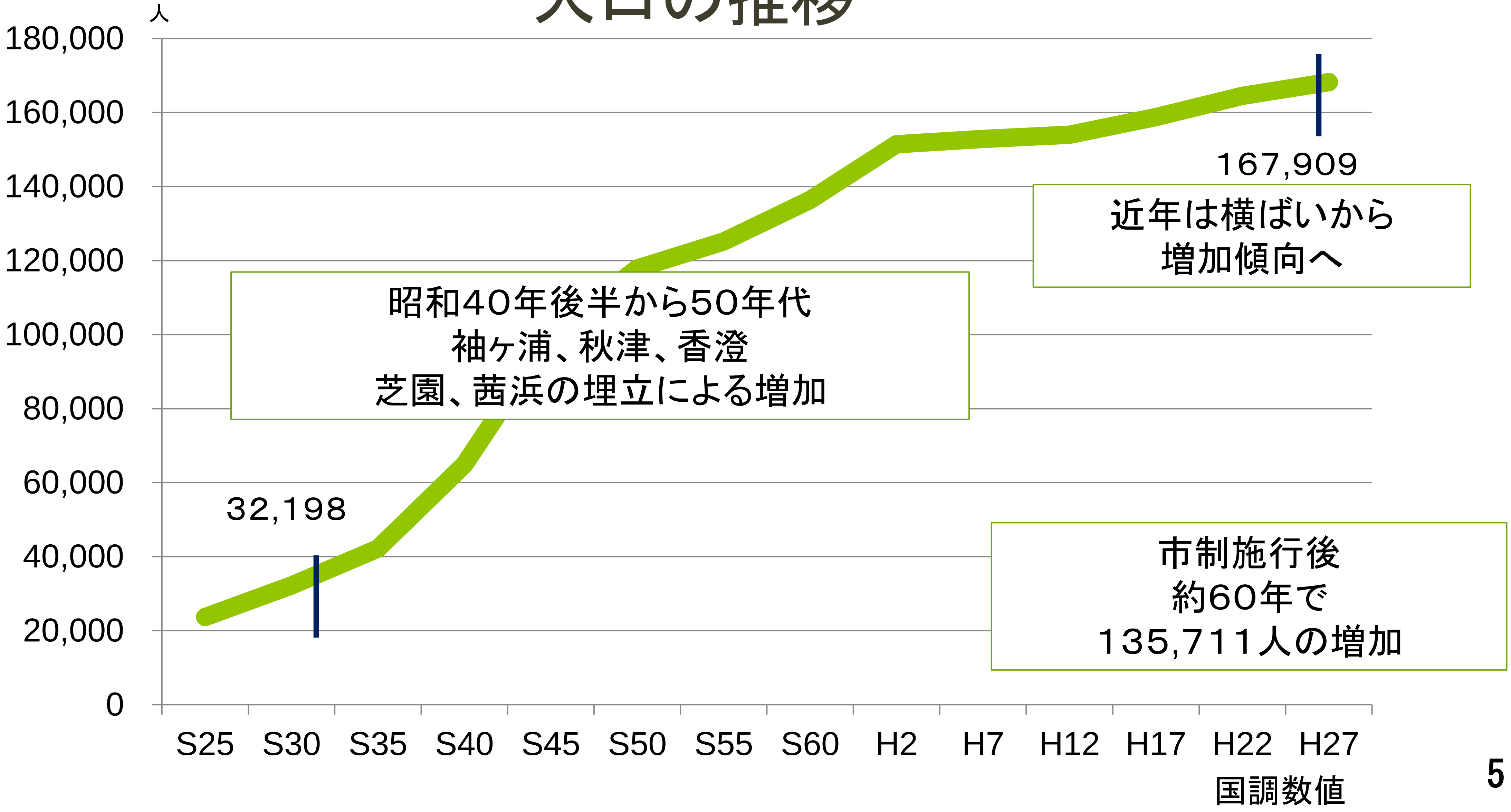


順位	市名	人口密度（人/㎢）
1	浦安市	9,484.74
2	市川市	8,381.06
3	**習志野市**	**8,124.51**
4	松戸市	7,872.89
5	船橋市	7,274.27
6	鎌ケ谷市	5,169.78
7	流山市	4,938.19
8	八千代市	3,759.86
9	柏市	3,608.63
10	千葉市	3,579.04

習志野市の人口概況と推計

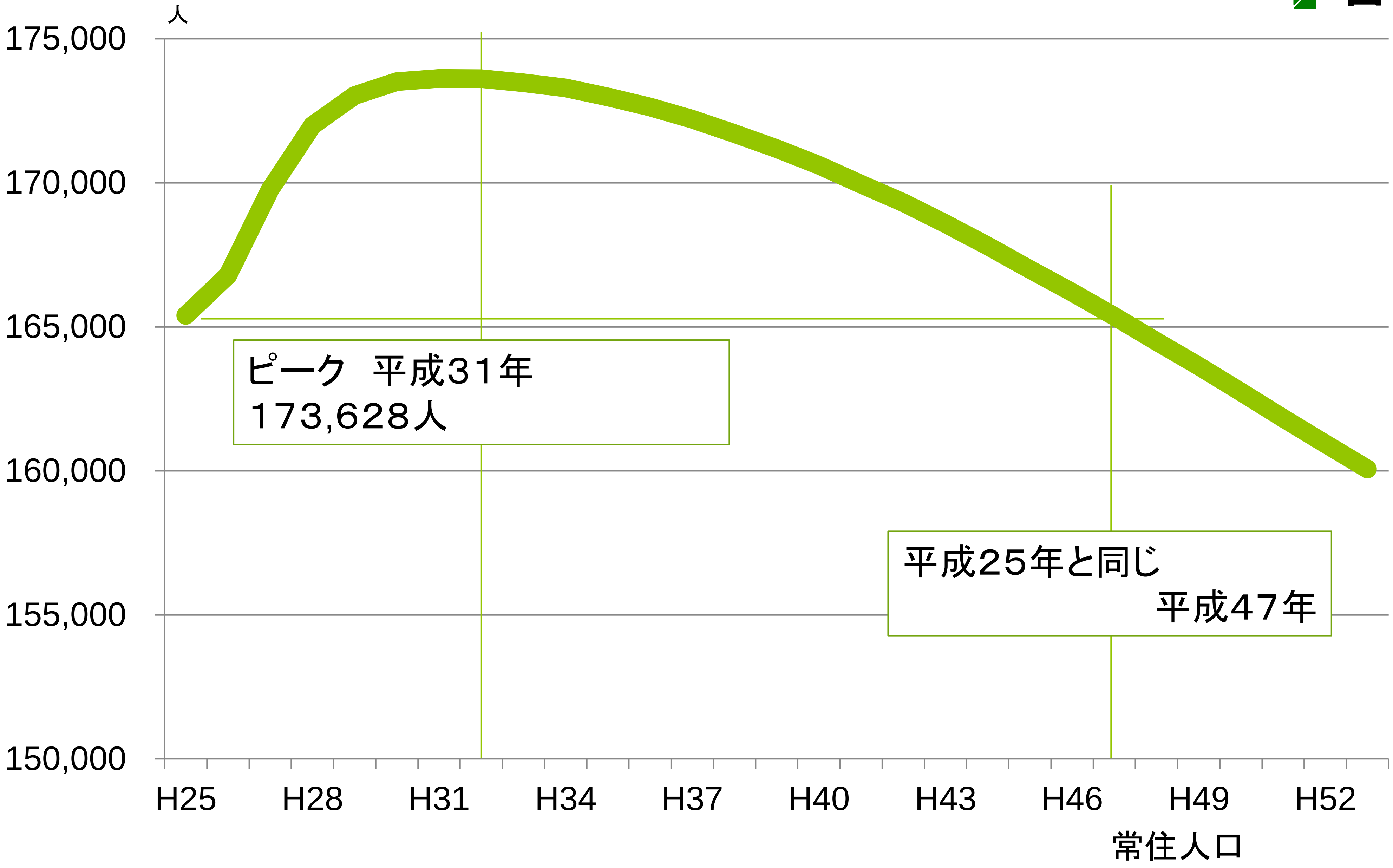
習志野市

人口の推移



推計結果

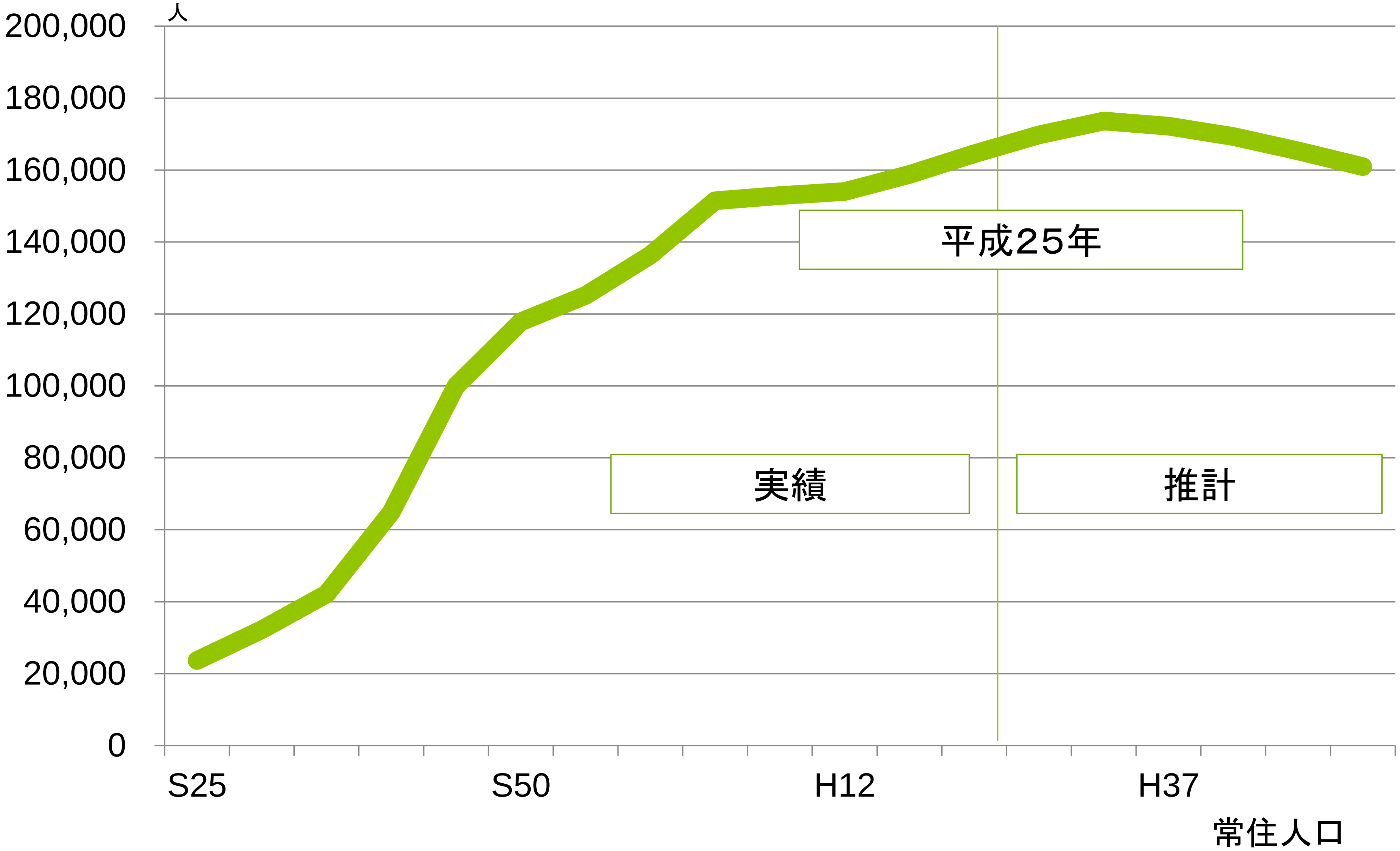
習志野市



人
175,000
170,000
165,000
160,000
155,000
150,000
ピーク　平成31年
173,628人
平成25年と同じ
平成47年
H25
H28
H31
H34
H37
H40
H43
H46
H49
H52
常住人口

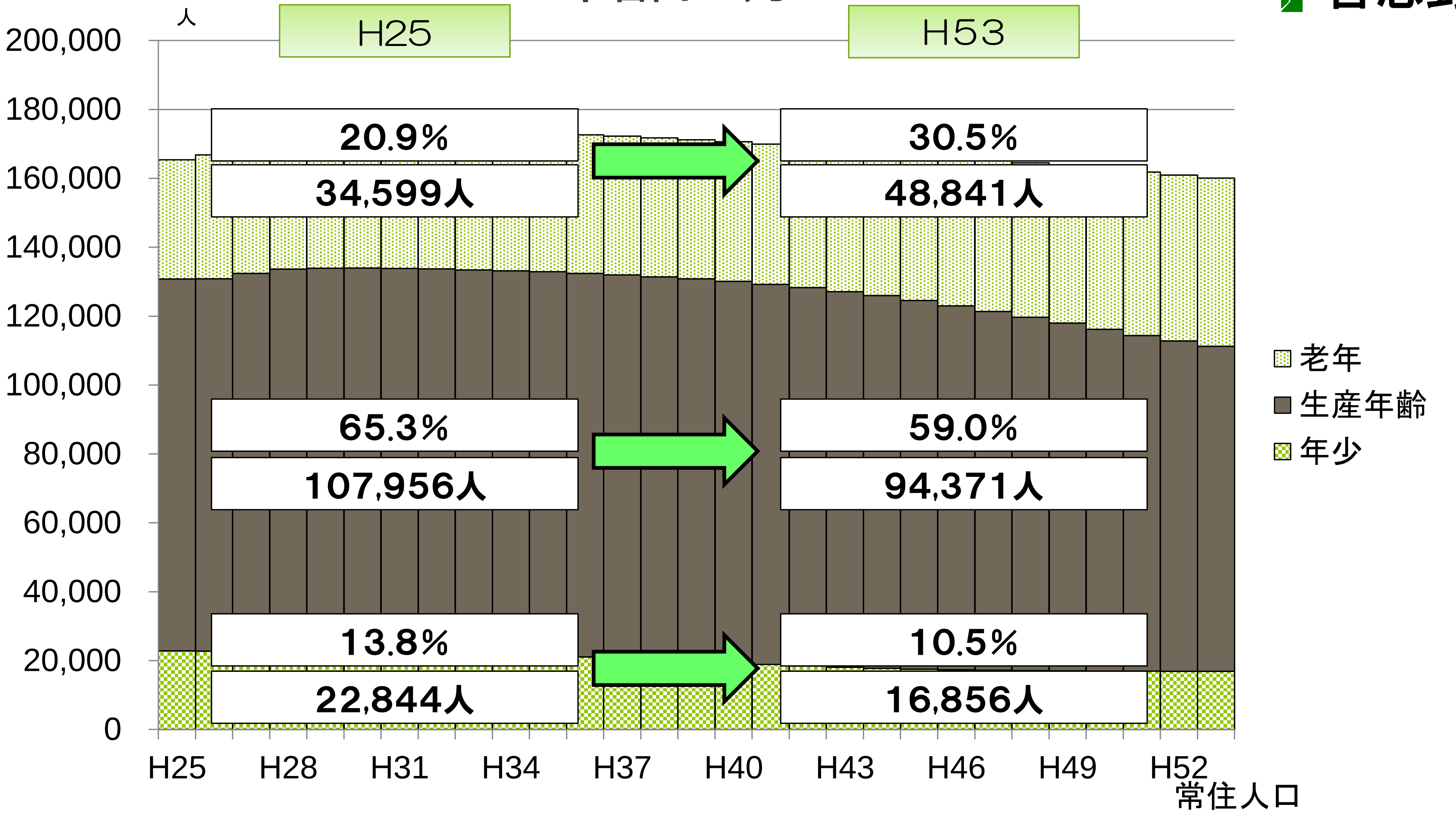
昭和25年から平成53年まで

習志野市



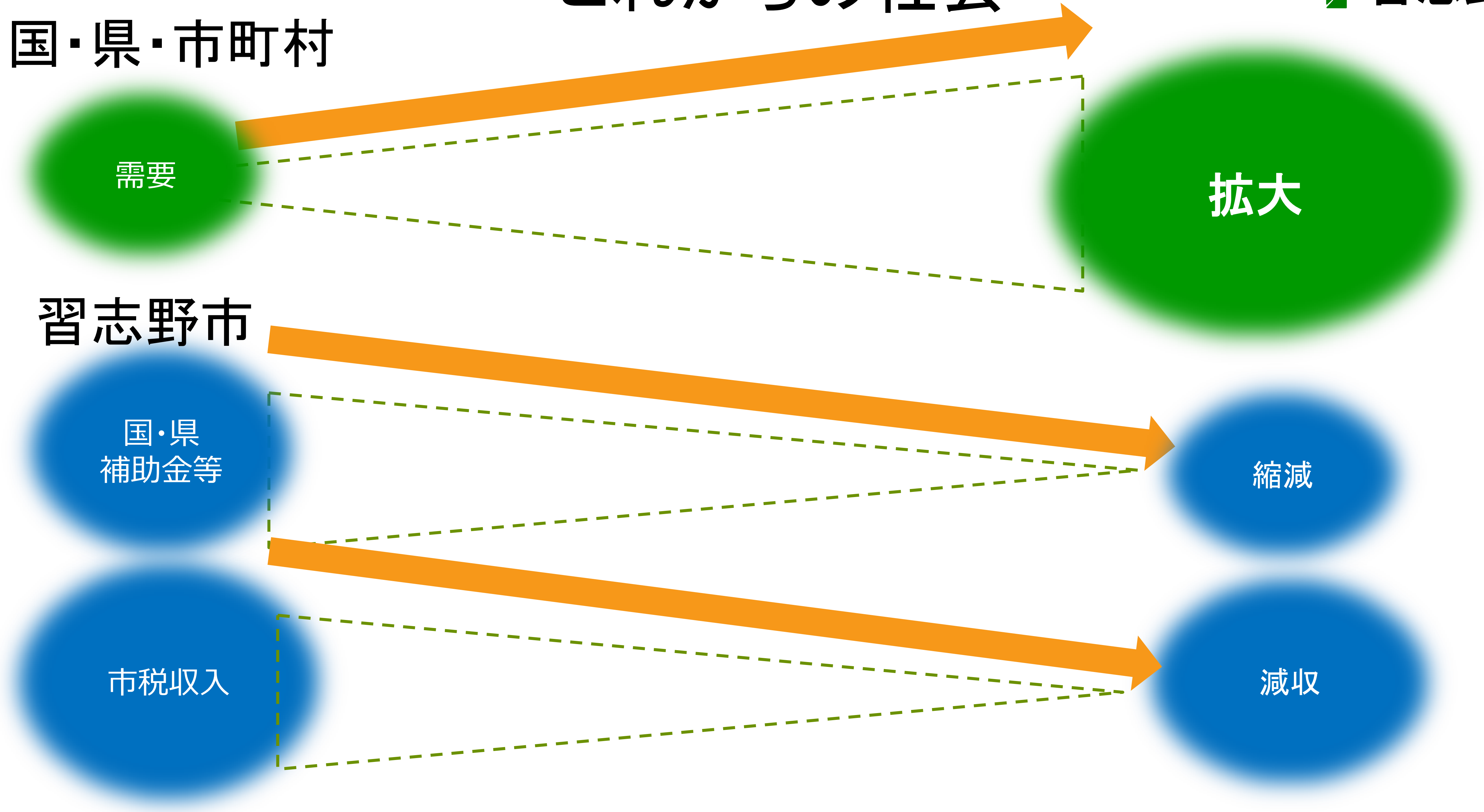
年齢区分

習志野市



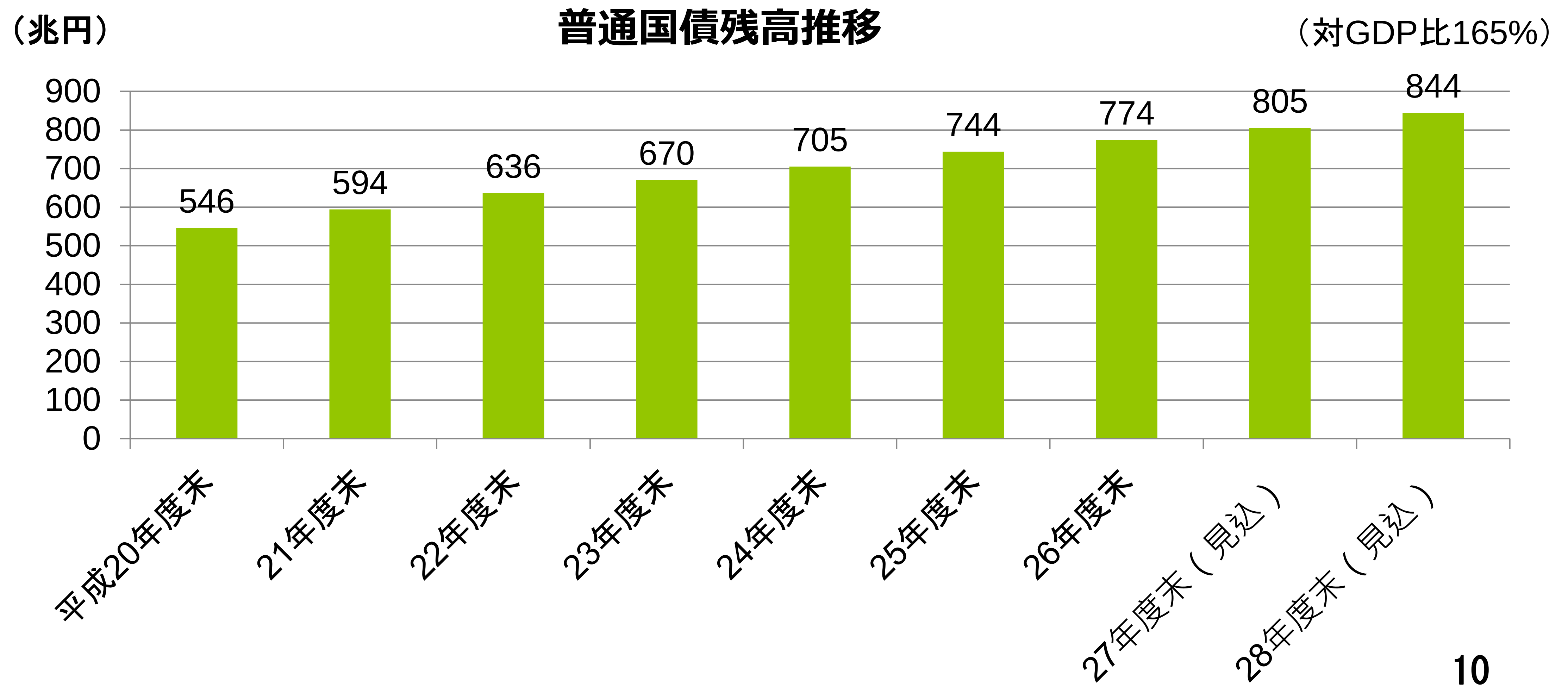
人
H25
H53
200,000
180,000
160,000
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
20.9%
34,599人
30.5%
48,841人
65.3%
107,956人
59.0%
94,371人
13.8%
22,844人
10.5%
16,856人
老年
生産年齢
年少
H25
H28
H31
H34
H37
H40
H43
H46
H49
H52
常住人口

これからの社会

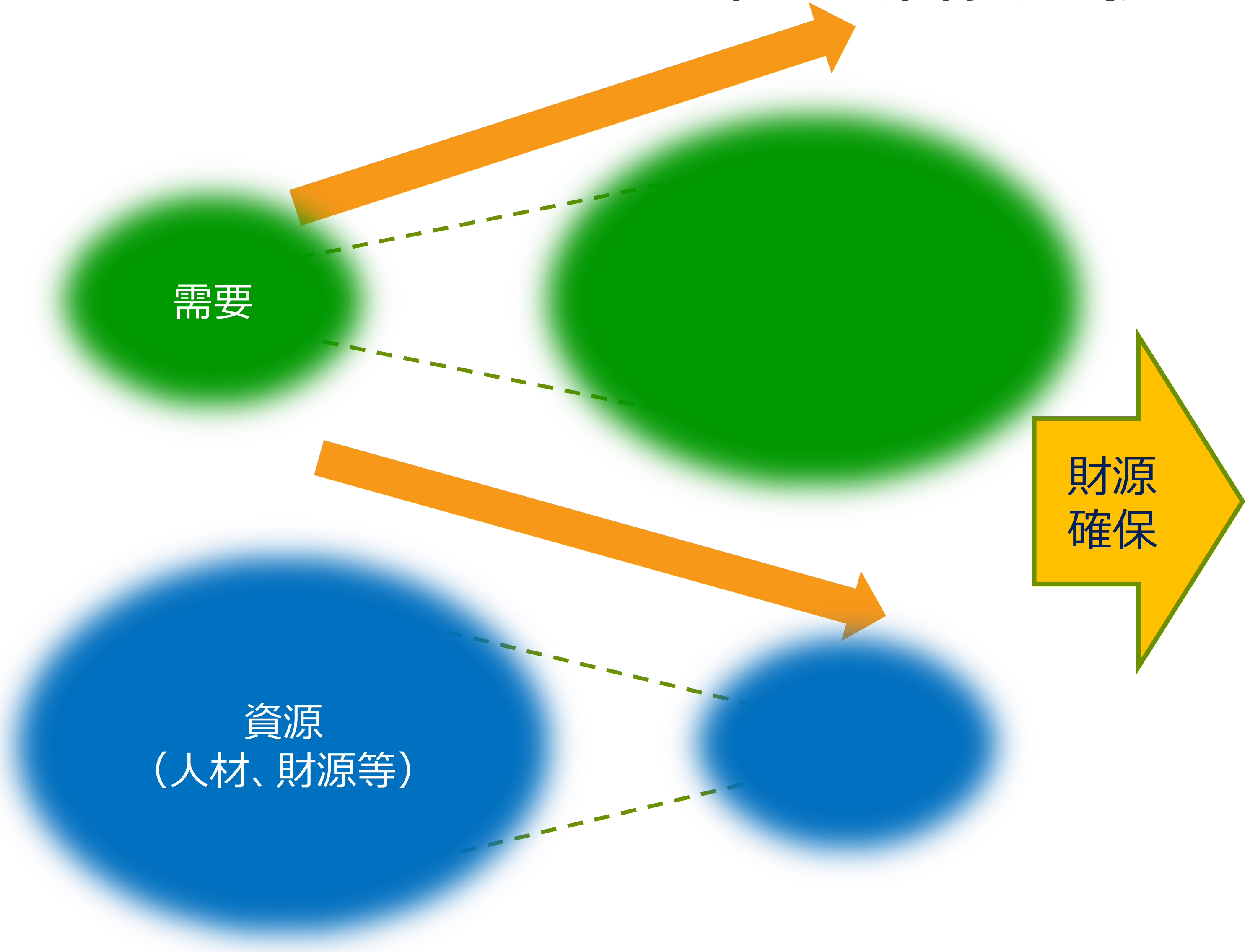


習志野市

国の債務残高推移



これからの社会（需要の拡大と資源の減少）



歳入確保

＋

歳出削減

常 に 一 体

習志野市
まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略

まち･ひと･しごと創生法（平成26年11月成立･公布）

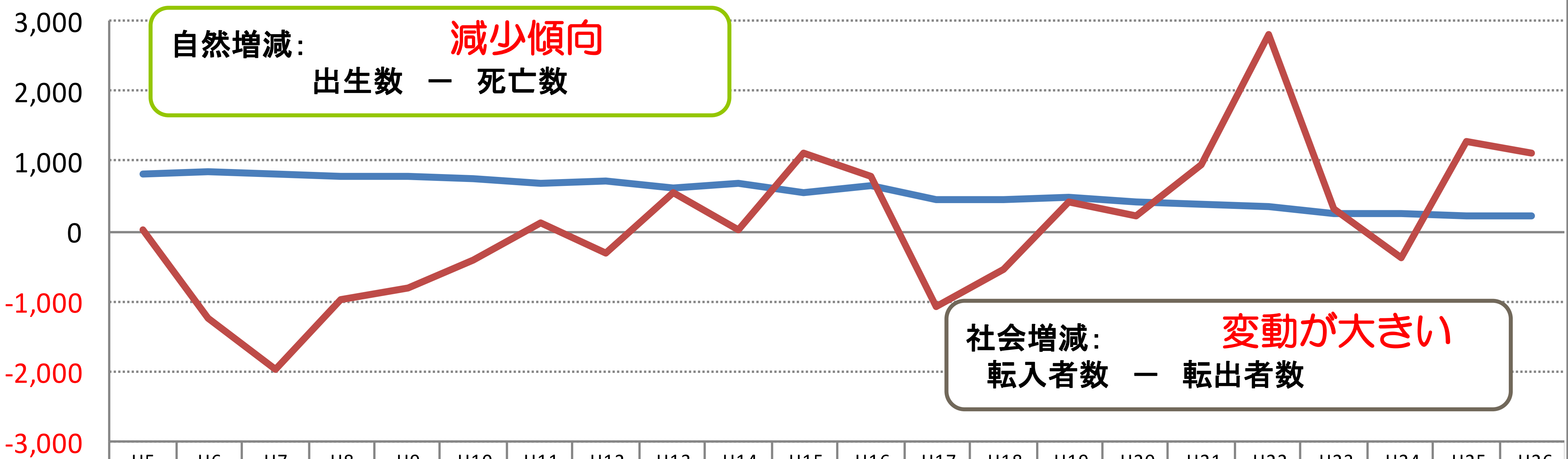
- 人口減少と地域経済縮小の克服
- まち･ひと･しごと創生と好循環の確立

人口動向分析からみた習志野市の課題

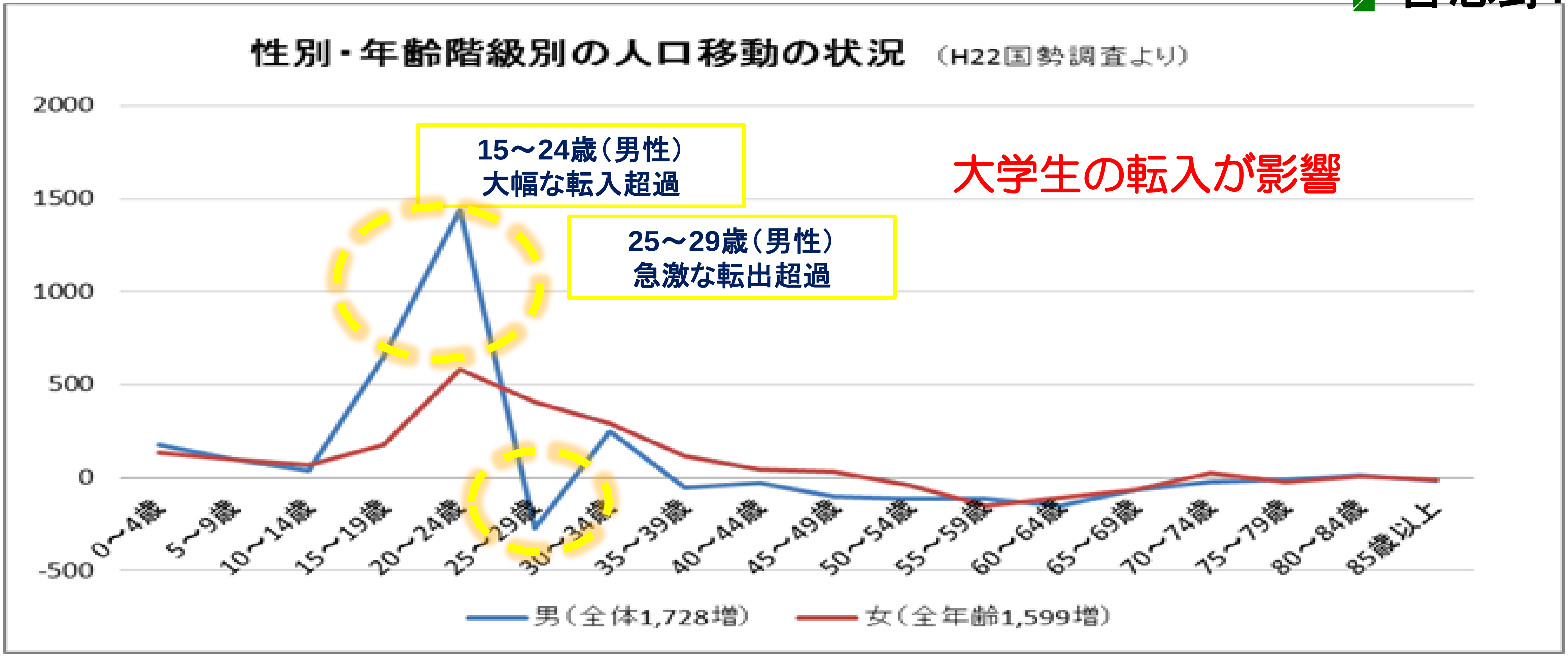
習志野市

- １．開発に大きく左右される
  社会増減と埋立地域の人口減少
- ２．若者世代における男性の
  大幅な転入超過後の大幅な転出超過
- ３．近年の東京への転出超過状況
- ４．超高齢社会の急速な進展

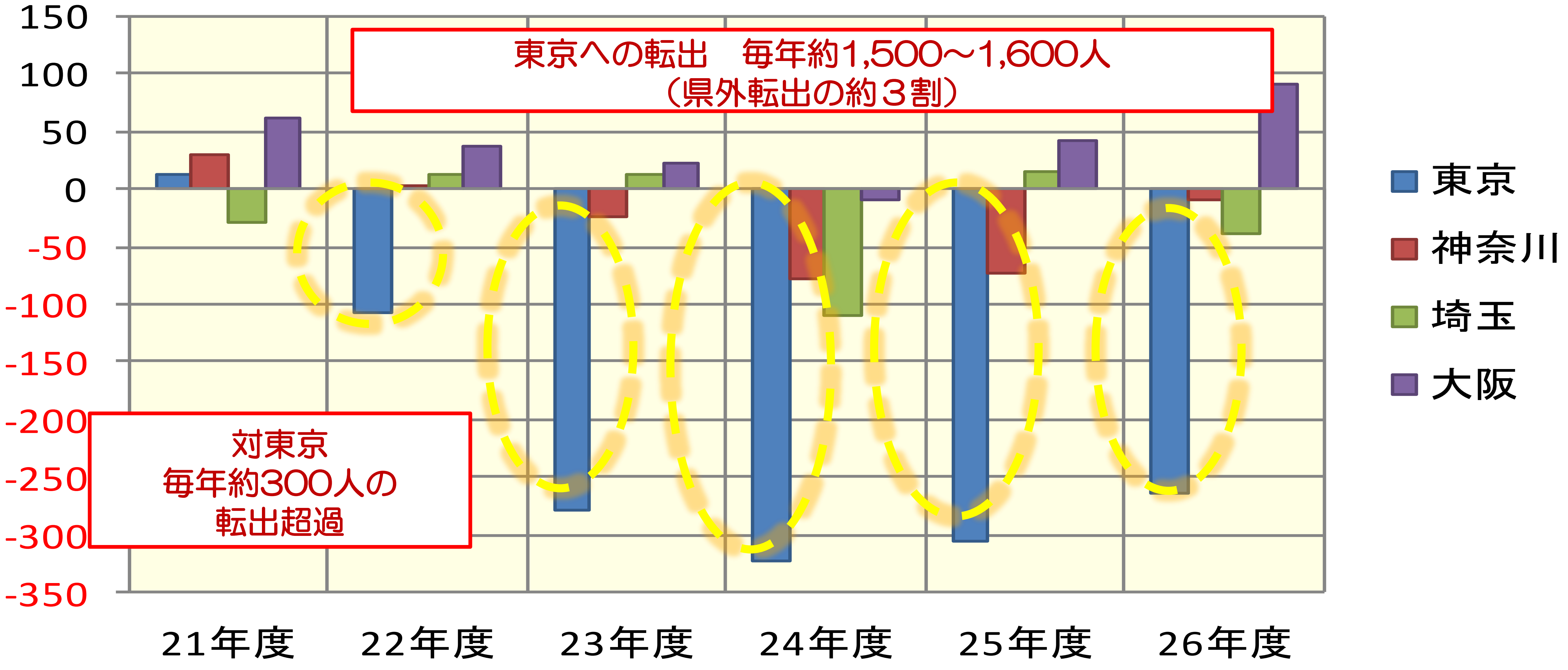
自然増減・社会増減



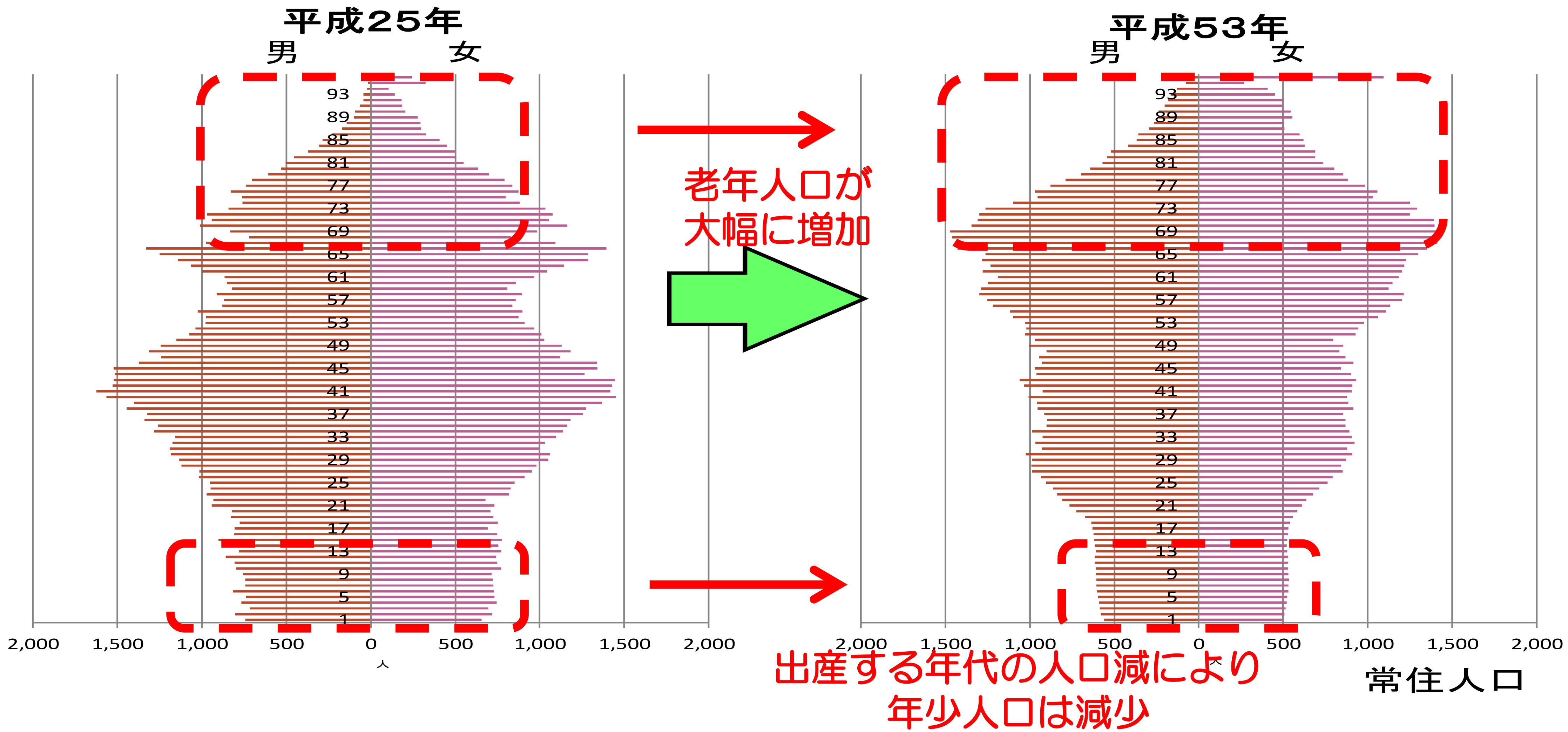
	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
自然増減	810	835	805	767	766	755	691	714	632	677	558	659	463	465	483	420	380	357	260	246	229	227
社会増減	9	-1,235	-1,966	-969	-826	-405	127	-313	544	29	1,123	788	-1,086	-552	411	201	941	2,795	306	-369	1,283	1,106


性別・年齢階級別の人口移動の状況 （H22国勢調査より）
2000
1500
1000
500
0
-500
0～4歳
5～9歳
10～14歳
15～19歳
20～24歳
25～29歳
30～34歳
35～39歳
40～44歳
45～49歳
50～54歳
55～59歳
60～64歳
65～69歳
70～74歳
75～79歳
80～84歳
85歳以上
男（全体1,728増）
女（全年齢1,599増）
15～24歳（男性）
大幅な転入超過
25～29歳（男性）
急激な転出超過
大学生の転入が影響

対県外　転入・転出超過状況

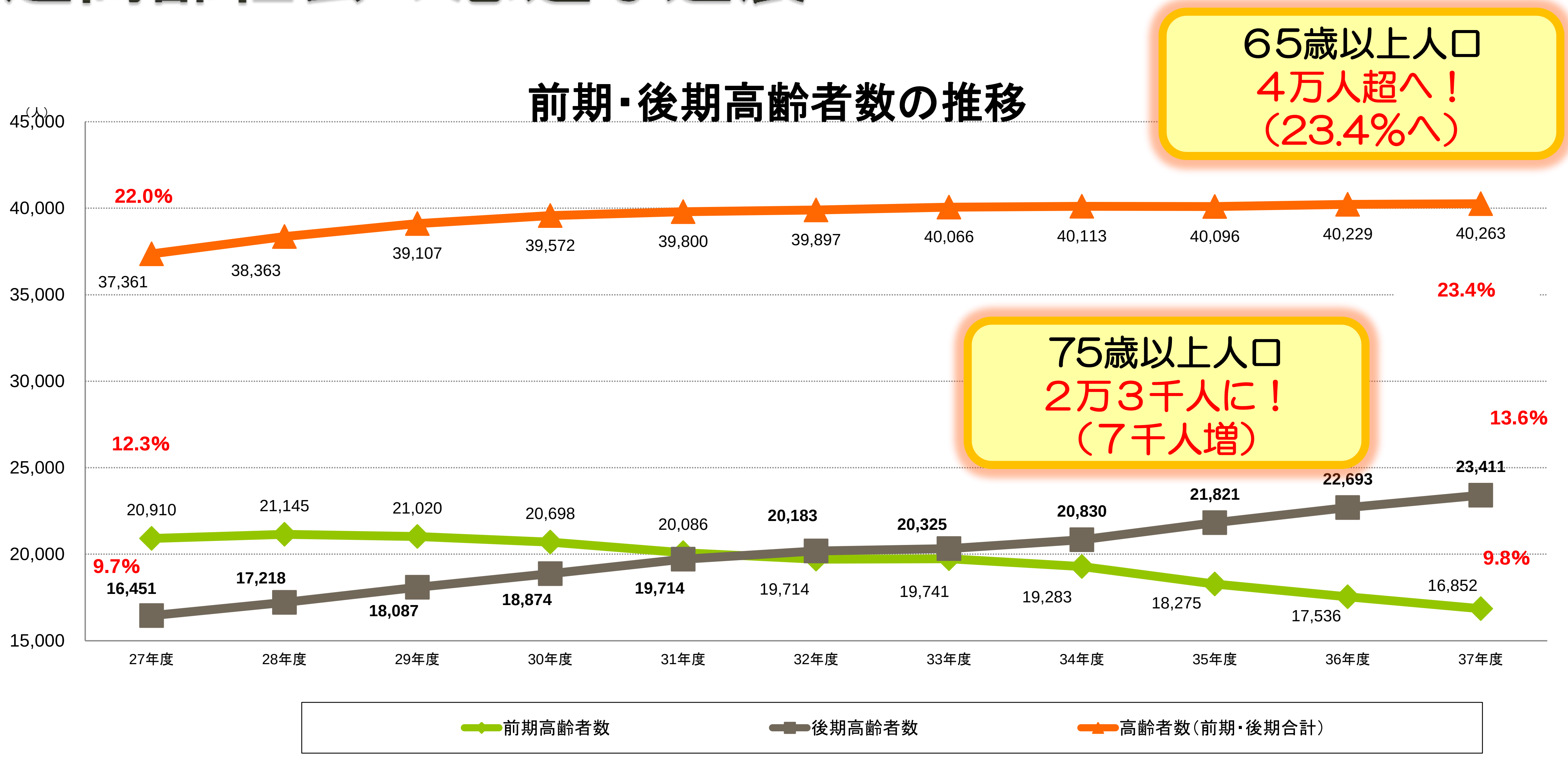


人口ピラミッド（H25とH53の比較）



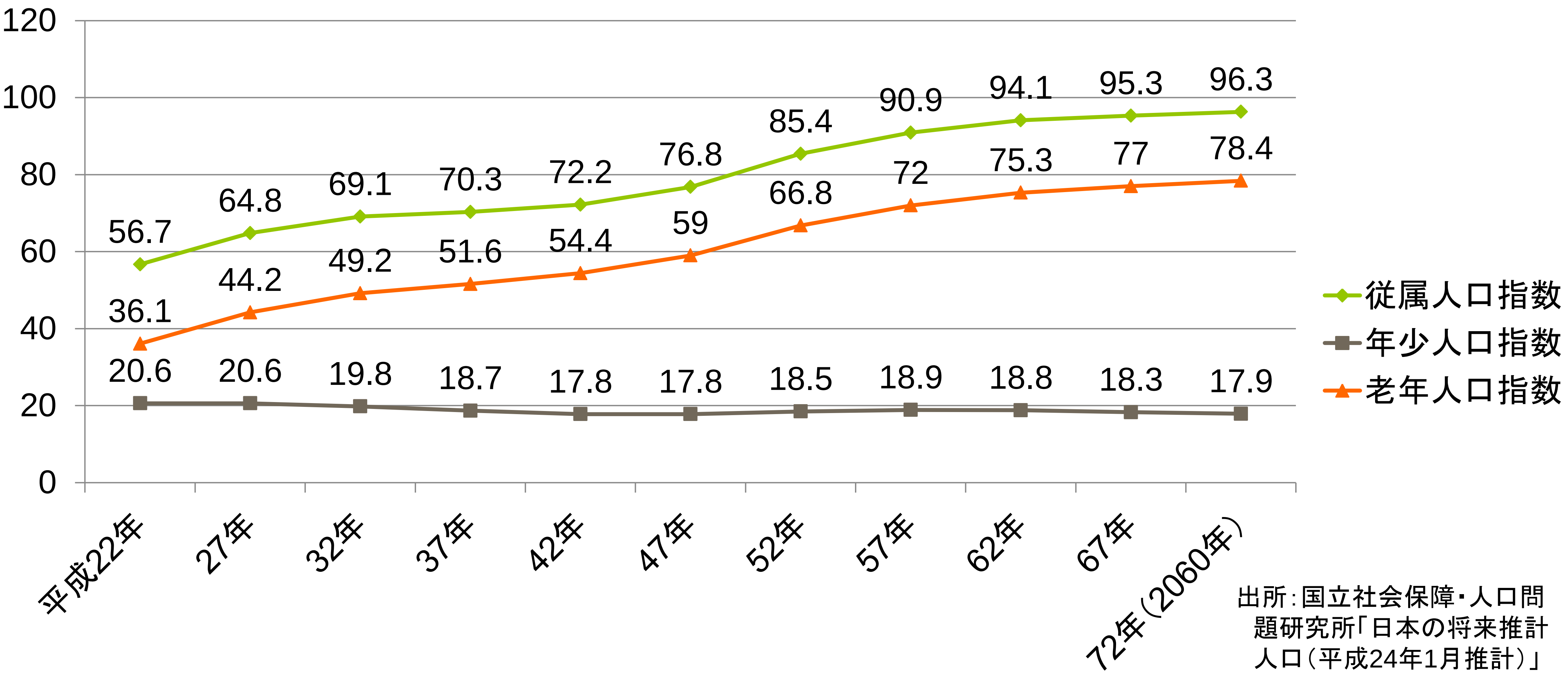
超高齢社会の急速な進展

習志野市



日本の従属人口指数の推移

習志野市

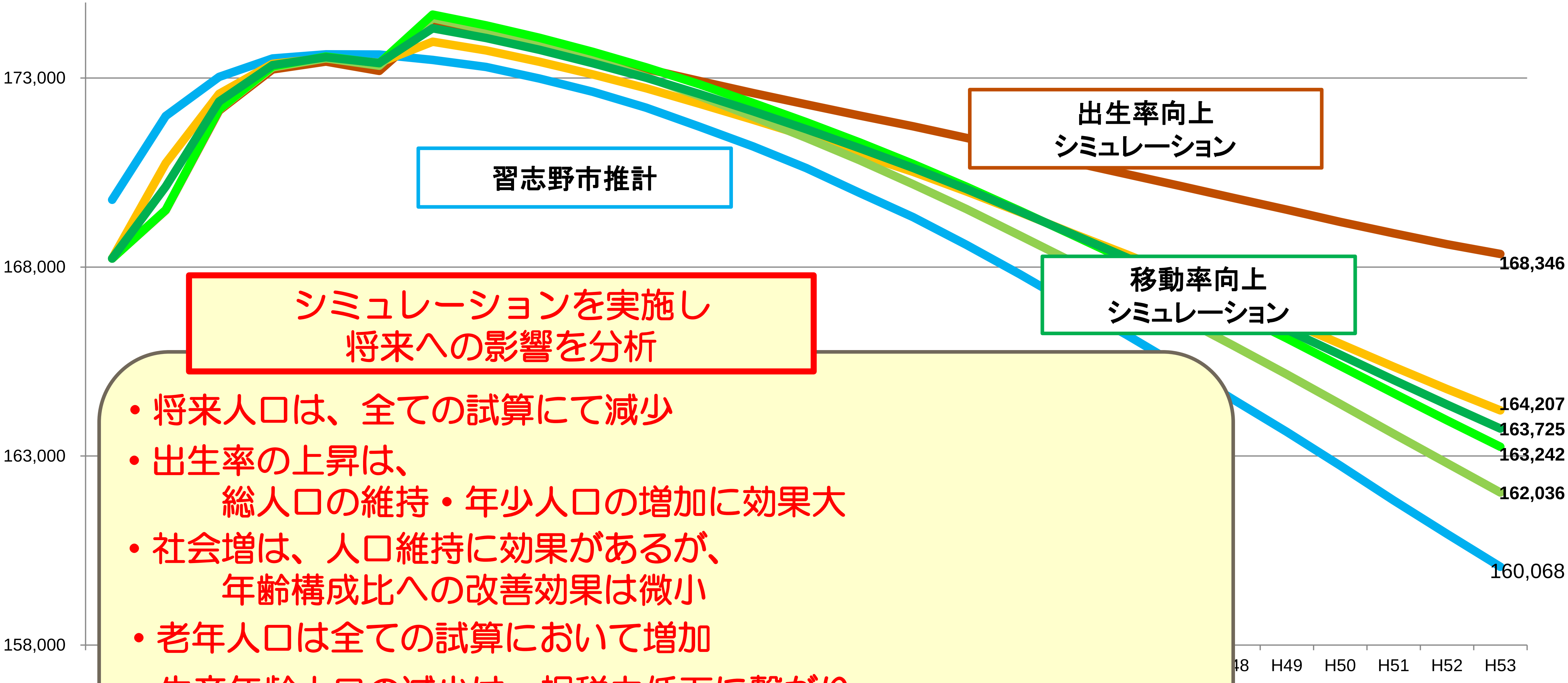


出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

従属人口：年少人口（0~14歳人口）と老年人口（65歳以上人口）を合計した人口
従属人口指数：従属人口を生産年齢人口（15~64歳人口）で除した比であり、
生産年齢人口100に対する従属人口を表す。

人口のシミュレーション

習志野市



**シミュレーションを実施し
将来への影響を分析**

- 将来人口は、全ての試算にて減少
- 出生率の上昇は、
  総人口の維持・年少人口の増加に効果大
- 社会増は、人口維持に効果があるが、
  年齢構成比への改善効果は微小
- 老年人口は全ての試算において増加
- 生産年齢人口の減少は、担税力低下に繋がり、
  財政状況、公共施設維持管理等への影響が大

人口ビジョン
：目指すべき将来の人口像

習志野市

習志野市は、平成５３（2041）年に

総人口１６万４千以上

を目指します。

この実現に向けた基本方針として

若者と子育て世代の定着・定住と、産み育てやすい環境づくりにより、現在まで増加を続けている人口をできるだけ維持し、将来の人口減少を最小限にとどめ、人を呼び込む、魅力あるくらしのできるまちを実現します

と掲げています。

戦略的な取組を！！

総合戦略

習志野市

３つの基本視点

習志野市の特性や強みを最大限に活かした取組

人口減少問題への複眼的な取組

習志野を愛し、時代を担うひとを呼び・育む取組

４つの基本目標

1．「安心して産み育てること、未来をひらく教育を受けることができるまちづくり」

2．「魅力あるくらしのできる習志野へ“新しいひとの流れ”をつくるまちづくり」

3．「しごとをつくり、“働きたい”をかなえるまちづくり」

4．「未来に対応する地域をつくり、支え合い・つながりで安心なくらしを守るまちづくり」

習志野市総合戦略実現のために

必要な視点の一つとして

「賑わいの創出（活性化）」

賑わいの創出

賑わいの創出（活性化）とは？

辞書を引くと･･･

にぎわう: ①人･物がたくさん出そろって、活気がある。 ②(商売･取引が盛んで)繁昌する。

↓

地域住民が増え、地域内市場産業が活性化している状態

賑わいの創出

では、習志野のどこに“にぎわい”が必要か？

少子高齢化社会においては、市民生活に必要な機能がコンパクトにまとまった都市を目指す必要がある。

↓

市民の活動の中心となる拠点の“にぎわい”が大切

習志野市

賑わいの創出

習志野市都市マスタープランでは駅周辺地区を“拠点”と位置付けている

□5つの地域区分

地域名	地区名称(**地域拠点**)	地域の鉄道駅	14 コミュニティ
谷津・谷津町・奏の杜	**谷津駅周辺地区**	谷津駅 津田沼駅	谷津 向山
藤崎・津田沼・鷺沼・鷺沼台	**京成津田沼駅周辺地区**	京成津田沼駅 津田沼駅及び 新津田沼駅	藤崎 津田沼 鷺沼・鷺沼台
大久保・泉町・本大久保 花咲・屋敷	**京成大久保駅周辺地区**	京成大久保駅	大久保・泉・本大久保 本大久保・花咲・屋敷
東習志野・実籾・実籾本郷 新栄	**実籾駅周辺地区**	実籾駅	実花 東習志野 実籾・新栄
袖ケ浦・秋津・香澄・茜浜 芝園	**新習志野駅周辺地区**	新習志野駅	袖ケ浦東 袖ケ浦西 秋津・茜浜 香澄・芝園

賑わいの創出

習志野市都市マスタープランでは駅周辺地区を“拠点”と位置付けている

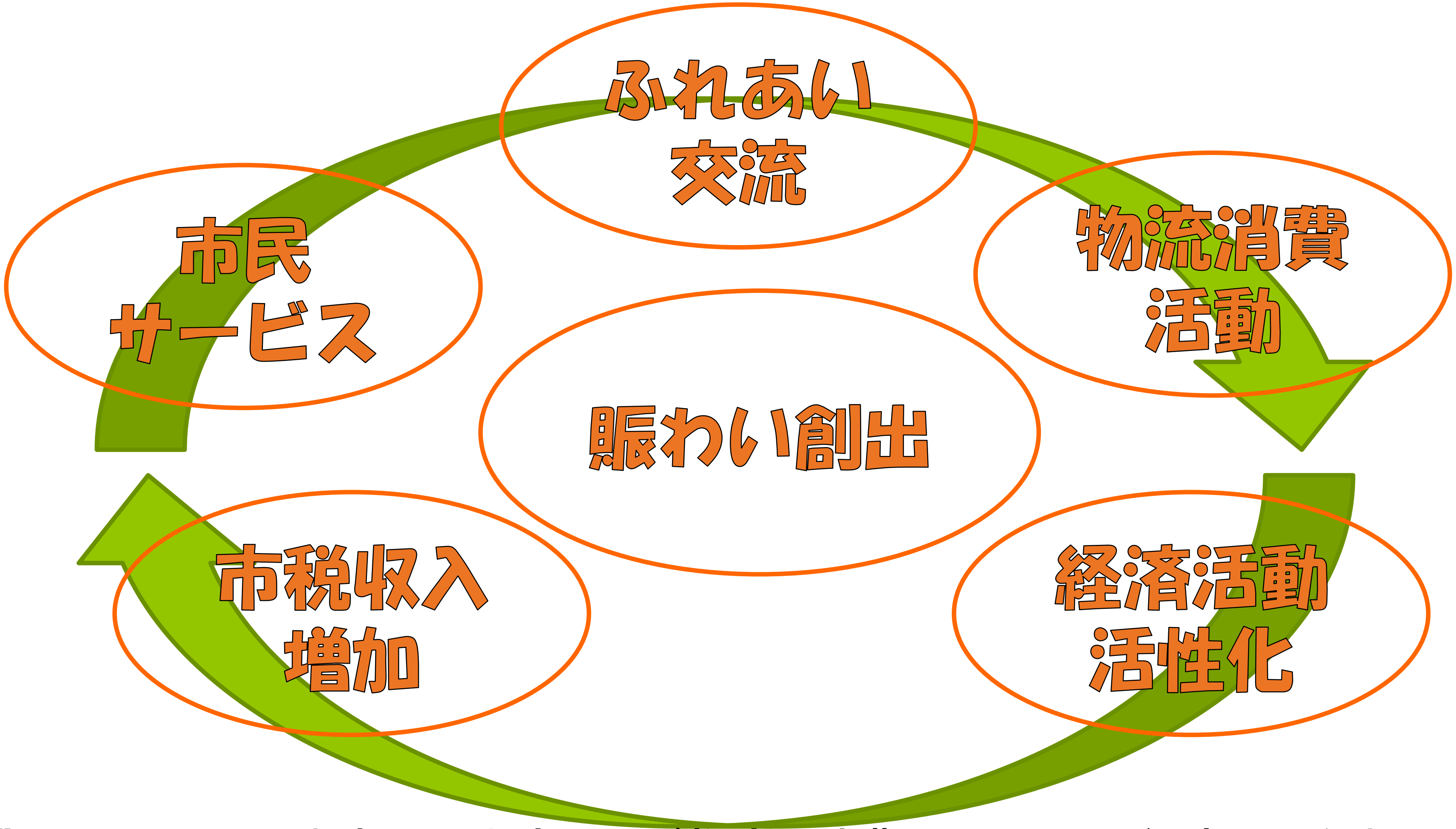
さらに、ＪＲ津田沼駅周辺を

“広域拠点”

として位置付けている。

習志野市

賑わいの創出



“賑わい創出”による人々のふれあいや交流活動が物流や消費活動と言った経済活動を生み、ひいては、市税収入へつながり、市民サービスの原資となる。

賑わいの創出

市が取り組むこと

総合戦略の着実な実施

1．「安心して産み育てること、未来をひらく教育を受けることができるまちづくり」
2．「魅力あるくらしのできる習志野へ“新しいひとの流れ”をつくるまちづくり」
3．「しごとをつくり、“働きたい”をかなえるまちづくり」
4．「未来に対する地域をつくり、支え合い・つながりで安心なくらしを守るまちづくり」

賑わいの創出

習志野市

みなさまに取り組んでいただくこと

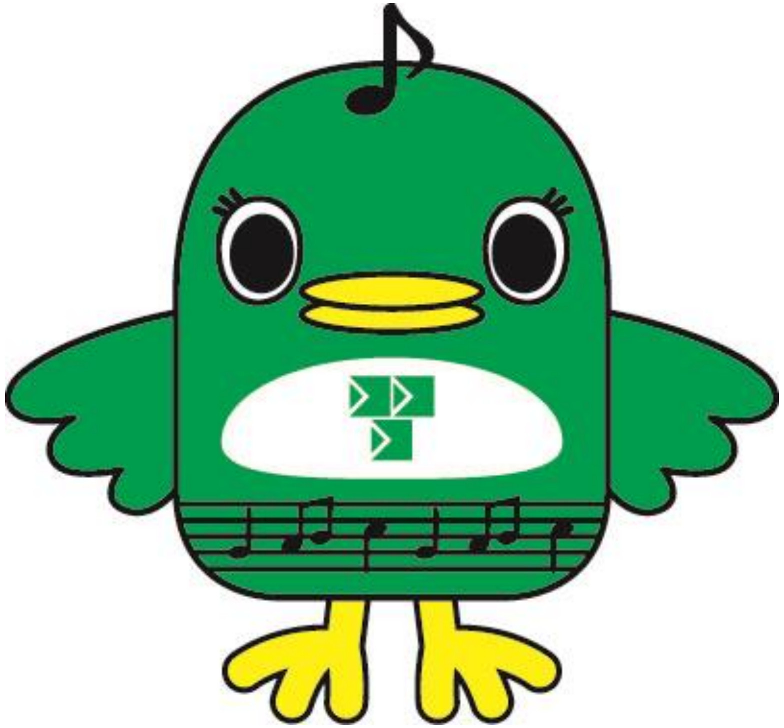
「積極的に外出しよう」

健康管理（老若男女問わず、日頃の健康意識の醸成）
＝健康寿命の延伸など

活動的な生活
（仕事の充実＋仕事以外の充実＝ワークライフバランス）

地域への愛着（民主主義＝市民が主役のまちづくり）

御清聴ありがとうございました



習志野市ご当地キャラ「ナラシド♪」